

# むらづくり実践交流集会

3月22日(土)

「コミュニティ活動についての講演会や実践の報告。また、検討中の「自治基本条例」について、策定委員会からの経過報告が行われました。」

## 講演要旨 暮らして甲斐のある地域づくり

参画・協働、住民主権といわれますが、大変難しい言葉です。「なぜ住民が主体で頑張らなければならぬのか、税金を払っているのだから、自治については行政に任せたらよいのでは」というのも住民の率直な思いです。これは、日本の歴史にも要因があります。我が国では「自治」と言えば、地方公共団体による自治(団体自治)を中心として発展してきました。明治以降、中央集権により国力を高め、統治する必要から「団体自治」によつて国づくりがなされてきたのです。戦後、アメリカの民主主義を導入したものの、変わらず中央集権により経済成長を遂げました。欧米のような「住民自治」の歴史は不十分です。

ところが今日、社会が成熟し、もはや「団体自治」行政主導のまちづくりでは、住民の満足度は得られなくなりまして。公園一つ作るにも、行政主導では画一的、どこも同じものになります。どんな公園にすればよいか、一番分かってるのは近くで暮らす住民です。身の丈にあった身近な問題から、住民自身が参画して作っていく、そんなシステムが求められています。



元宝塚まちづくり推進部長 田中義岳さん

宝塚では、17年前から、自治会と別に「コミュニティ協議会」を設置し、双方がお互いの特長を張りましょう。

## パネルディスカッション 自治基本条例とこれからのむらづくり

※田中鈴子さん(司会)

村民が安心して楽しく暮らせる、また、「一人ひとりが輝き、夢はぐくむむらづくり」を進めるには、どのような内容を盛り込めばよいのか、村民・議会・行政について、検討されているグループからそれぞれご報告いただきます。

※三島尋子さん(村民・地域)

自治の基本原則として、村民主権や人権尊重を盛り込む。人権尊重には、「子どもの権利」も。また、村民はもちろん事業者の役割も盛り込むなど議論を重ね

ているところです。

そして、中学生にも分かりやすい条例にしたいと思います。

※破戸志朗さん(行政)

行政の役割は、コーディネートなど。また、村長の責務(マニフェストなど)や情報の共有、人材育成、参画と協働等、村のしくみなどについて議論しています。

※田邊昌宏さん(議会)

議会活動が村民には見えにくいという声がある。

議会の情報公開、説明責任、マニフェストを二本柱に、議員の活動報告をする、また、村民全体の信託に応えるなど議論を重ねています。

条例は、「村の良き家訓」を定める事と念頭におき取り組んでいます。

## 実践報告 日上2住民避難マニュアル

一昨年春より、住民避難マニュアルの作成に取り組ましました。

日上2は、袋小路か所も多く避難方法など話しあいました。災害直後に安否確認をしあう集合場所を決め、自治会長を代表とする災害対策本部を設置することとしています。また、いざという場合、地区内の事業所から様々な機器を借りられるよう申し出いただきました。

このマニュアルを災害時に活かすのは、私たち一人ひとりの心構えです。日頃から準備を怠らないようにしたいと思います。



日上2自主防災委員会代表 建部智功さん

出来上がった条例は、小冊子にし、コミュニティ活動の「鏡(手引)」にしたいと思います。